

第3回 東大院生による ミニレクチャプログラム

Academic Commons Supporter

若林 智章

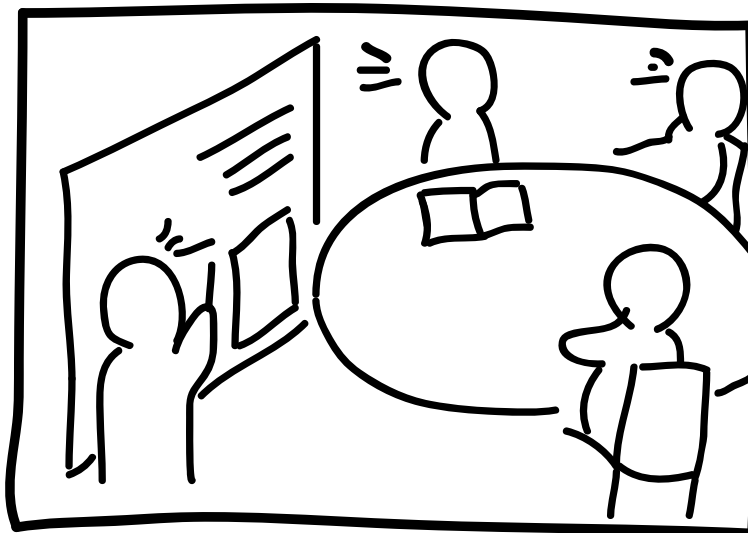
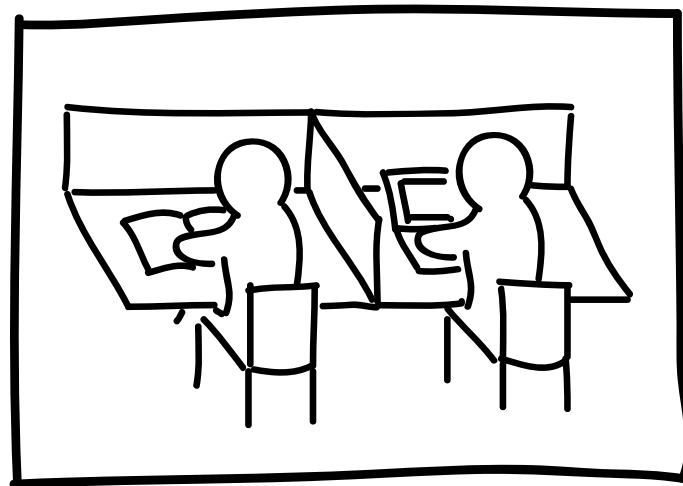
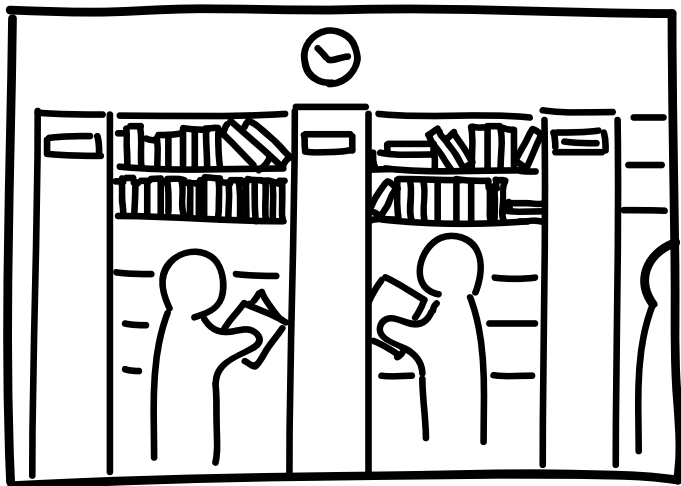
2015.06.26

新しい図書館

×

新しい教育

新しい図書館？



新しい図書館 ～図書館で教育～

- 図書館は全学的な施設
 - 図書館に求められる機能
 - 自発的な学習支援の「場」の提供
 - 学生、職員、教員による学習支援
- ラーニング・コモンズ (Learning Commons)



新しい図書館 ～東京大学総合図書館～

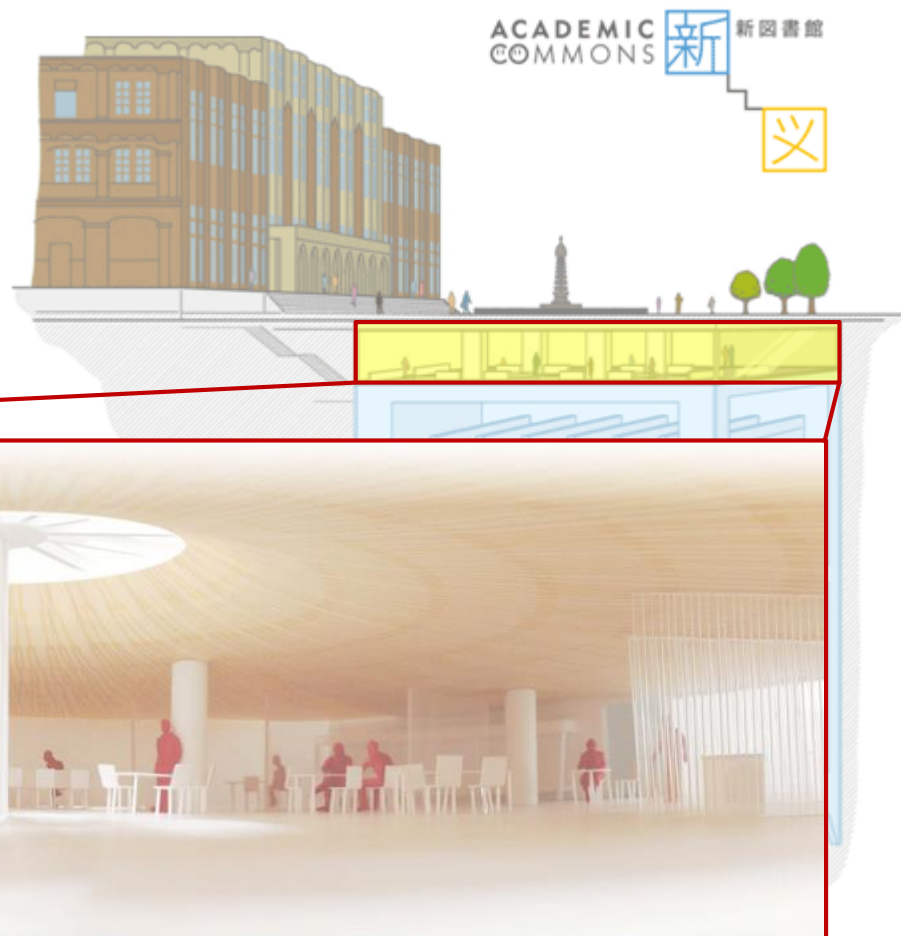
- 東京大学附属図書館の中で中心的な存在 [1]
 - 総合図書館 蔵書：1,227,736冊 所蔵雑誌：19,259種
- 関東大震災後に再建され長い歴史をもつ建築 [2]
 - 昭和3年完成、スクラッチタイルにゴシック様式
 - 設計は内田祥三（東大建築学科教授、東大第14代総長）
- 現在の歴史ある建築を生かしつつ機能を充実させる
 - 新図書館計画

[1] 総合図書館の概要と歴史：<http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/sogoto/contents/about.html>

[2] リーフレット「総合図書館の歴史と現在」：<http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/sogoto/history.pdf>

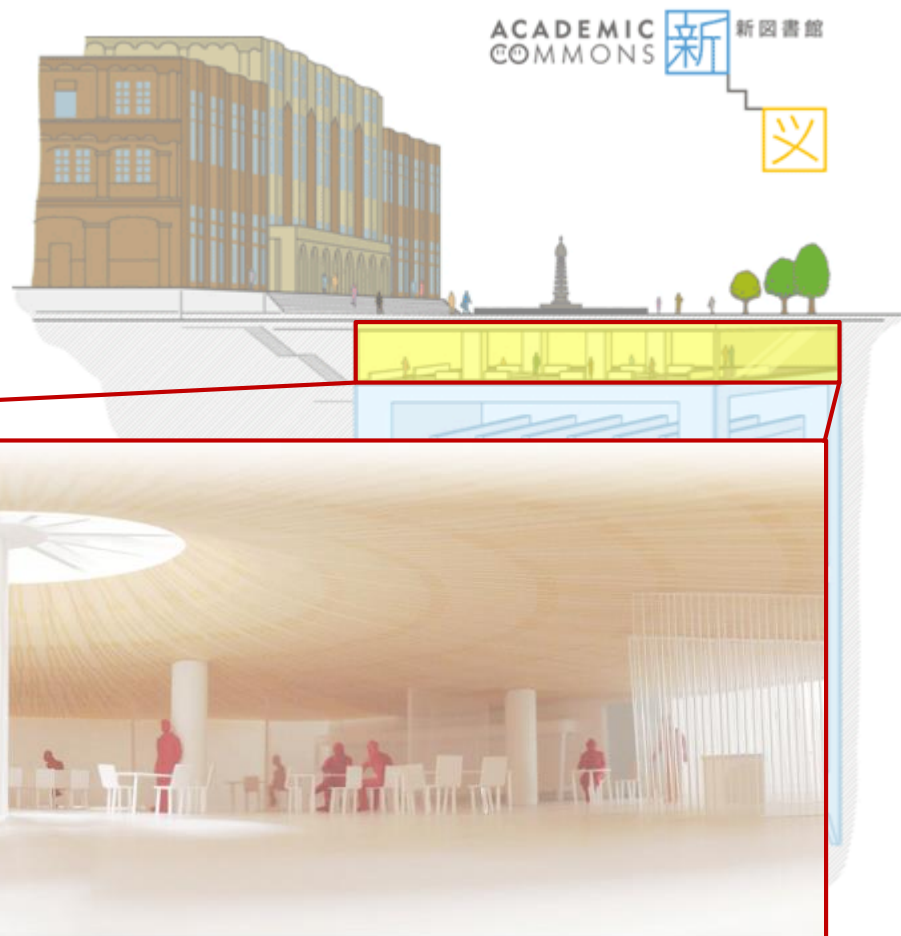
新しい図書館 ～ライブラリープラザ～

- ・ライブラリープラザ
 - ・グループ学習の場
 - ・知の交流の促進



新しい図書館 ～新図書館計画～

- 電子図書館と伝統的図書館の融合
- アジア研究図書館
- 教育との連携と国際化
- 学術文化の発信
- 出版文化の公共的基盤



新しい図書館 ～ACS～

新図書館



Academic Commons Supporter

• アカデミックコモンズサポーター (ACS)

- 課題発見型ボランティア
- 図書館教職員と一緒に企画、運営

• プロジェクト例

- ミニレクチャプログラムの開催
- 新図書館計画パンフレットの作成

• 今後の活動テーマ

- ミニレクチャプログラムの開催
- 新図書館計画関係者へのインタビュー
- 他大学図書館の学生スタッフとの交流

興味のある方は是非！

<http://new.lib.u-tokyo.ac.jp/acs>

みんなのアイデアが集まったら、
どんな新図書館ができるだろう？

第4期 ACS
(アカデミックコモンズサポーター)
学生ボランティア募集

対話と実践を重ねて、新図書館計画に東大生の声を届けます
ACSの活動と応募の詳細は http://new.lib.u-tokyo.ac.jp/post_acs/2703

概要
東京大学は、本郷キャンパス総合図書館を大幅に拡充し、大学図書館の在り方を再構築する「新図書館計画」に取り組んでいます（工事2013年～2019年予定）。
附属図書館では、新図書館計画に学生の立場から参加する学生ボランティア「アカデミックコモンズサポーター」を募集します。いざ生まれ変わろうとしている図書館の、まったく新しい姿を築くために、経験も専門も違う学生同士が対話と実践を重ねて、理想の図書館を実現する方法を探っていきます。
あなたも未来の図書館と一緒に考えてみませんか？
・大学院生によるミニレクチャイベントの開催
・新図書館計画関係者へのインタビューとWeb発信
・ツイッター、Webサイトでの情報発信
※このほかにもACSメンバーのアイデアを企画にすることがあります

応募資格 東京大学の学部学生・大学院生
応募方法 ac_boshu@lib.u-tokyo.ac.jp 宛にメール件名を「ACS 応募」にして以下の事項を連絡
1. 名前 2. 学部・研究科 3. 学年 4. 電話番号 5. メールアドレス 6. 活動予定の中で参加したい活動があるか、また、それに興味した経験（イベント企画、Webコンテンツ作成や広報活動等）があれば教えてください
ACS 応募者向け説明会あり（4月下旬予定）
※都合の合わない方は応募しない

活動予定
※ジュニアTAではありません（謝辞は出ません）。
活動場所：原則として総合図書館（本郷キャンパス）
活動時間：開催は参加者の条件等を勘案のうえ、決定します。

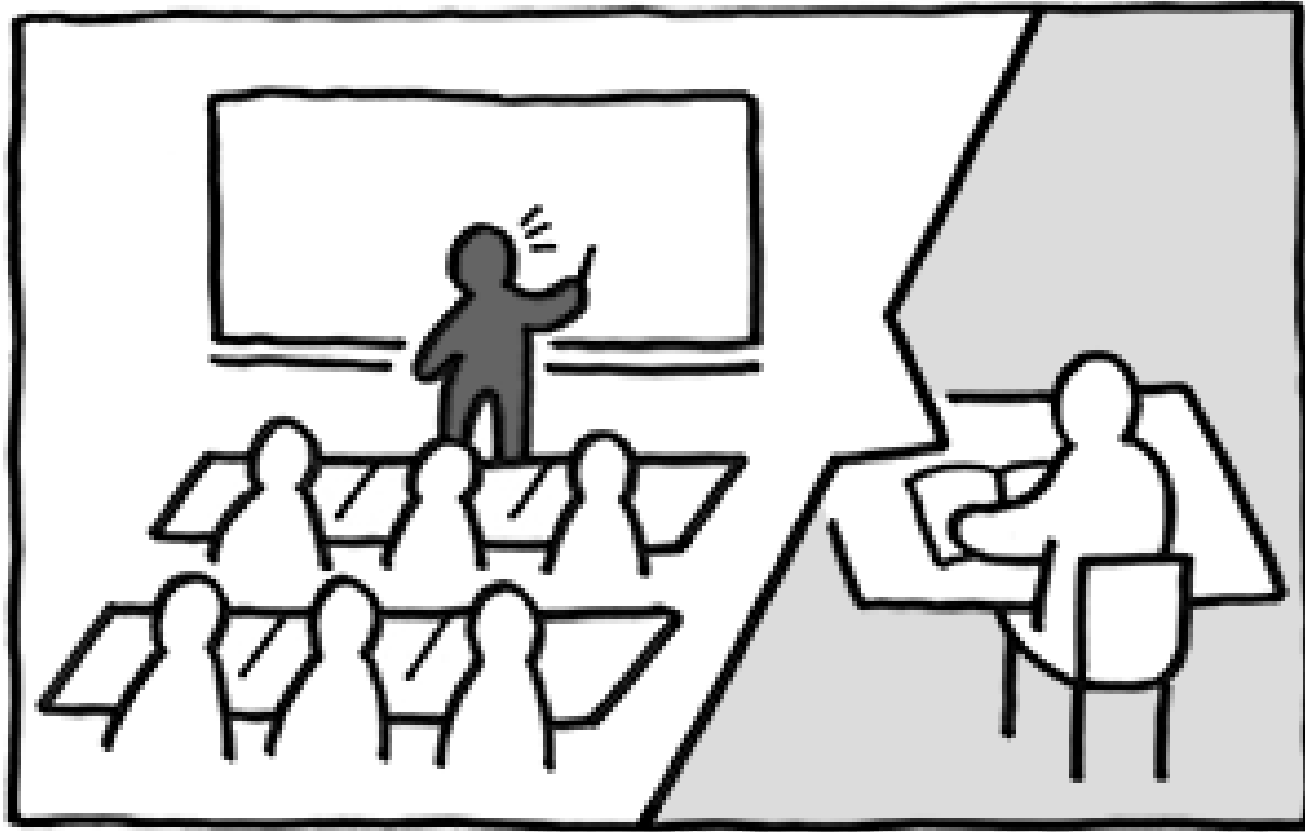
応募締切 2015年5月～2016年3月（第5期以降の活動も予定しています）
応募締切: 2015年4月20日（月）
募集締切後も途中参加可能な場合がありますので、関心のある方はぜひお問い合わせください。
東京大学附属図書館 ACS 募集担当
<http://new.lib.u-tokyo.ac.jp/acs>
twitter @acsUTokyoNewLib

新しい図書館

×

新しい教育

新しい高等教育？



新しい高等教育 ～学生主体の教育へ～

主体的に考える力
生涯学び続ける力

が必要



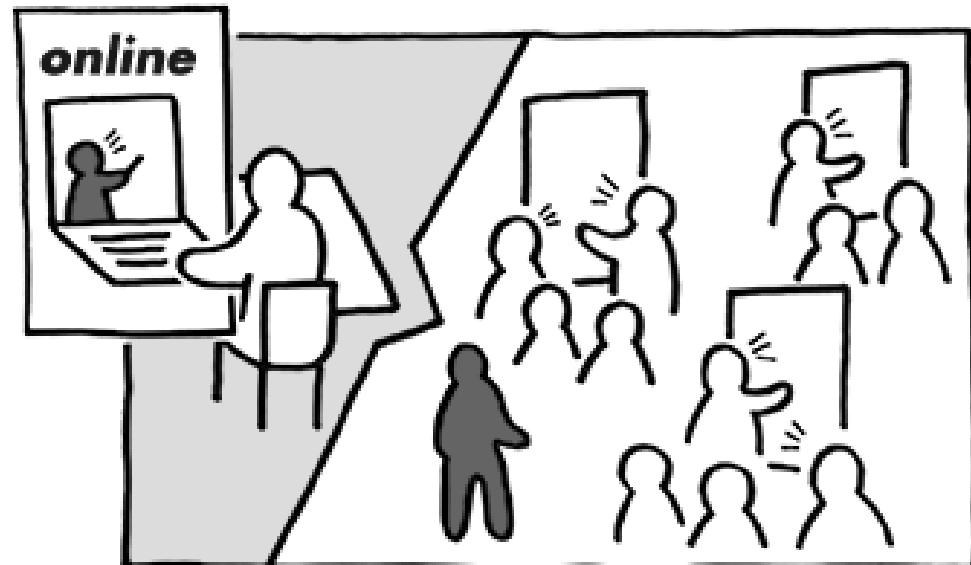
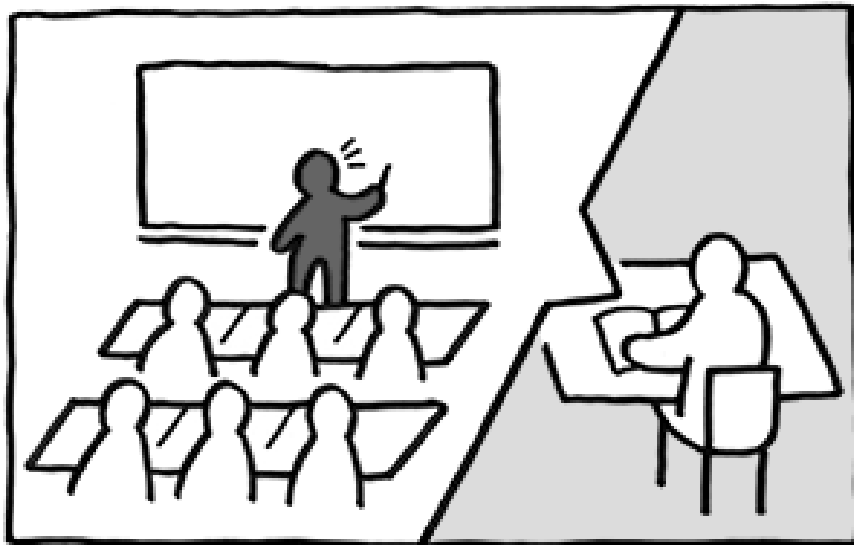
アクティブラーニング
(Active Learning)

アクティブラーニング

これまでの教育
一方向・教員主体



これからの教育
双方向・学生主体



新しい高等教育 ～東大 FFP～

- 東京大学 Future Faculty Program (FFP)
 - 授業法を教える授業
 - インタラクティブな授業展開
 - 全学的なプログラム
 - 多様な専門分野の院生が集結

東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO



大学教員になる準備をしよう。

募集スタート!
詳しくはWebへ

東京大学フューチャーファカルティプログラム(FFP)
Future Faculty Program

UofTokyo Faculty Development

大学で教えるための実践的な知識・スキルが学べる大学院生向けプログラムです。シラバス作成、授業デザイン、評価の仕方などを学びます。



FFP Merit 1 全学のさまざまな研究科の大学院生とのネットワークが作れる Merit 2 修了者には履修証が交付され、履歴書に書ける

第5期受講生募集中! 募集 4月9日
募集 4月9日

参加資格 東京大学在籍の大学院生(修士課程・博士課程) 募集人数 25名×2クラス(本郷・駒場)

問い合わせ 大学総合教育研究センター 教育課程・方法開発部門 東京大学フューチャーファカルティプログラム lodaid@he.u-tokyo.ac.jp

東大FFP 検索 <http://www.todaifd.com/>



東大FFP - 構成 -

プレワークショップ

高等教育の現状

大学教育開発論
(大学院共通授業科目)

授業技法・学習科学
シラバス作成
クラスデザイン
評価
模擬授業 など

ポストワークショップ

ポートフォリオチャート

プレワークショップ

高等教育の現状





大学教育開発論 (大学院共通授業科目)

授業技法・学習科学
シラバス作成
クラスデザイン
評価
模擬授業 など



東大FFP



ポストワークショップ

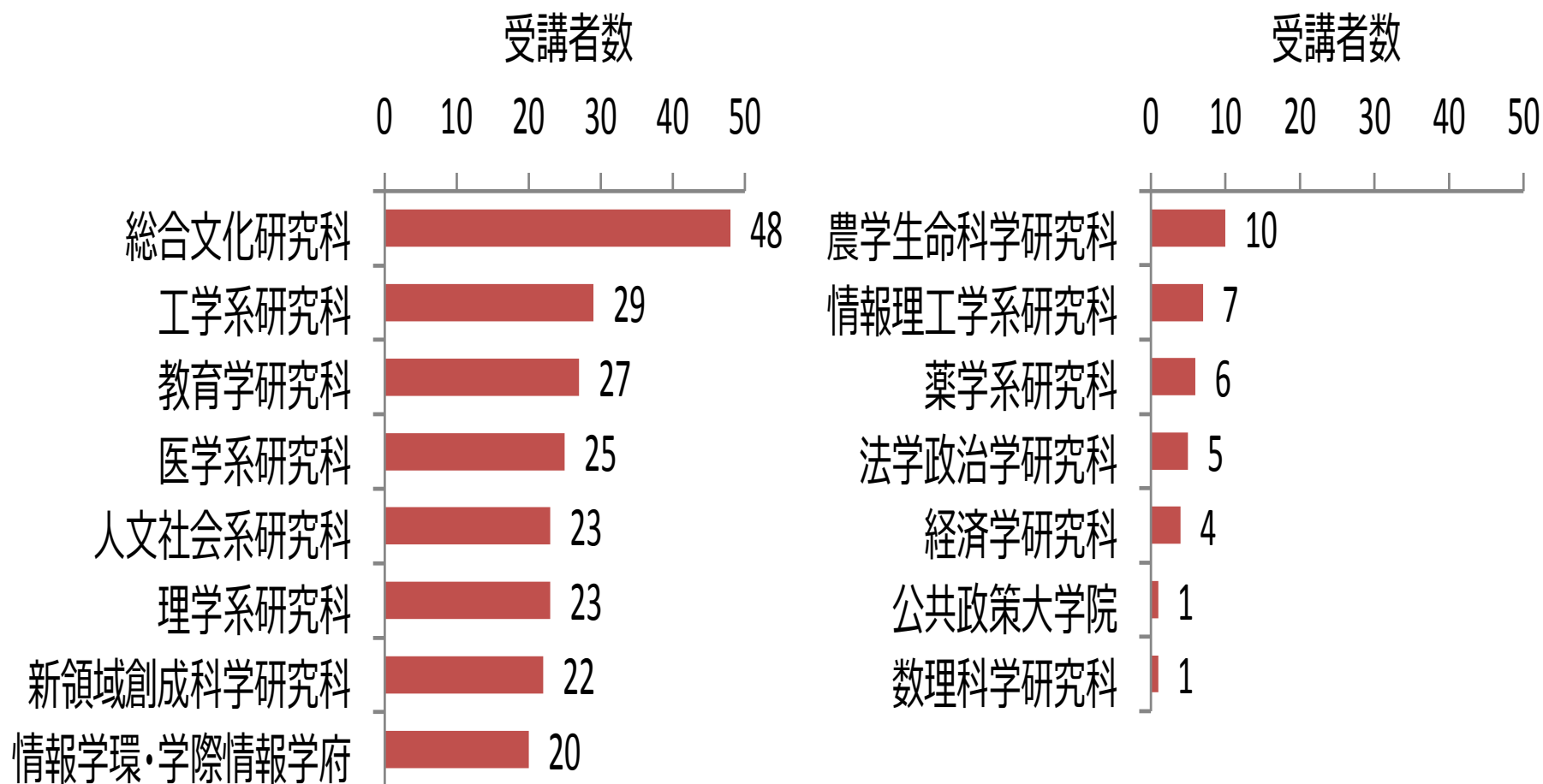
ポートフォリオチャート

東大FFP



履修証

受講生の内訳



意識や行動に変化がありましたか？

91%が「あった」と回答

- 大学教員を目指すこと, 「教えること」に対する意識の変化
- 授業で学んだことの実践
- 学生として現在の授業に対する見方の変化
- 教員側の視点の獲得
- 他分野の研究者教育者とのネットワークの重要性への気づき
- 研究への好影響

東大FFP

- 実践的な教育力を育成する半期プログラム
- 専門領域を超えたネットワーク
- ミニレクチャプログラムをはじめとする修了後も継続する活発な活動

後期もあります！

プレエントリーはこちら

<http://www.todaifd.com/entry>

ミニレクチャプログラム

- 図書館で **FFP 修了生**が**専門性**を活かしたレクチャ
 - 多様な院生によるミニレクチャで、**知の交流**を促進
 - ✓ 院生の考える「研究」とは
 - 高等教育の質を向上する**アクティブラーニング**を周知
 - ✓ ミニレクチャ手法の解説

新しい図書館

×

新しい教育

参考資料

- 山内 祐平、林 一雅、西森 年寿ほか（2010）『学びの空間が大学を変える』ポイックス株式会社
- 文部科学省（2010）『大学図書館の整備について（審議のまとめ）－変革する大学にあって求められる大学図書館像－』
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/toushin/1301602.htm
- 文部科学省（2012）『新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～（答申）』
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1325047.htm
- 石田 英敬（2013）「東京大学「新図書館計画」－新しい知の拠点、アカデミック・コモンズとして－」『会誌「大学マネジメント」』（2013年10月号 pp. 16-20）大学マネジメント研究会